

麻酔科 専門研修プログラム

◆ プログラムについて

基幹施設：名古屋大学医学部附属病院、藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院

(日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院は連携施設として研修を実施します。)

※プログラム内容の詳細は、当院ホームページよりご覧下さい。

◆ 専攻医の処遇

・身分：専攻医（常勤嘱託）

・給与：3年次 基本給 290,300円＋諸手当（地域手当、医師確保調整手当等）

4年次 基本給 305,800円＋諸手当（地域手当、医師確保調整手当等）

5年次 基本給 320,100円＋諸手当（地域手当、医師確保調整手当等）

・他施設で研修する場合の雇用条件は、それぞれの研修施設の給与、社会保障、労働条件による。退職金等は、退職時の施設基準に従う。雇用にかかわる住宅、交通などの条件は、当該研修施設の基準に従う。

◆ 当院における研修環境

当院は852床の急性期地域基幹病院であり、2017年度の年間手術件数は8309件、麻酔科管理症例数は5096件と県内トップクラスの規模です。総合病院として地域の様々な要請に対応できる体制が整っているため、ほぼ全ての疾患を経験することができます。例えば、数百gの超低出生体重児から100kgオーバーの肥満患者症例、また多発交通外傷、動脈瘤破裂、産科緊急症例など大学病院ではあまり経験できないような緊急手術症例も豊富に出会うことができます。これらの症例に対して麻酔科医として様々な麻酔方法を駆使して幅広く周術期に關与しています。新しい麻酔方法や術後鎮痛法の改善など、日進月歩の麻酔科学の発展に遅れることなく、常にup to dateであるよう心がけているので、麻酔科医として十分な実力を身につけられるだけでなく、最新のスキルを身につけることができ、研鑽を積むには適しています。専門医取得までに麻酔科標榜医、学会認定医の取得、また周術期経食道心エコー認定試験（JB-POT）認定医の取得が可能であり、スタッフが丁寧に指導しています。エコーガイド下の神経ブロックも同様にトレーニング可能であり、研修期間中にマスターすることができます。

◆ 研修コース例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	救急部配属			上級医とマンツーマンで麻酔研修								
2年目	心臓麻酔研修開始											
3年目	標榜医取得											
4年目	JB-POT 認定医取得											

お問合せ先

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 教育研修管理課

TEL：052-481-5111 E-mail：kensyu-jimukyoku@nagoya-1st.jrc.or.jp